



平成28年12月期第3四半期 決算説明資料

平成28年11月
株式会社セレス（東証マザーズ：3696）



1. 平成28年12月期第3四半期 決算概要
2. 今後の計画（成長戦略）
3. APPENDIX

成功報酬型のスマートフォンメディア事業を展開

ポイントメディア事業

広告の閲覧、スマホアプリのダウンロード、ショッピング、アンケートなどのアクションに応じてポイントが貯まる無料会員サービスです。ポイントは現金・電子マネー・ビットコイン等と交換可能です。



モッピー (SP)



モバトク (SP)



お財布.com (SP)



モッピージョブ (SP)

HRメディア事業

広告主は無料でアルバイト求人広告を掲載可能な採用報酬型求人サービスです。求職者が採用された時点で広告料が発生します。



1. 平成28年12月期第3四半期 決算概要

平成28年12月期第3四半期累計 決算概要

売上高 **2,758百万円** (前年同期比 **19.0%増**)

営業利益 **465百万円** (前年同期比 **19.8%増**)

- 四半期の売上高・営業利益ともに過去最高を更新。
- ポイントメディアにおける会員の活性化を通じ、売上高は前年同期比で19.0%の増加。増収効果により営業利益は前年同期比で19.8%の増加。
- O2O事業の一環として国際ブランド付プリペイドカードの発行を開始。

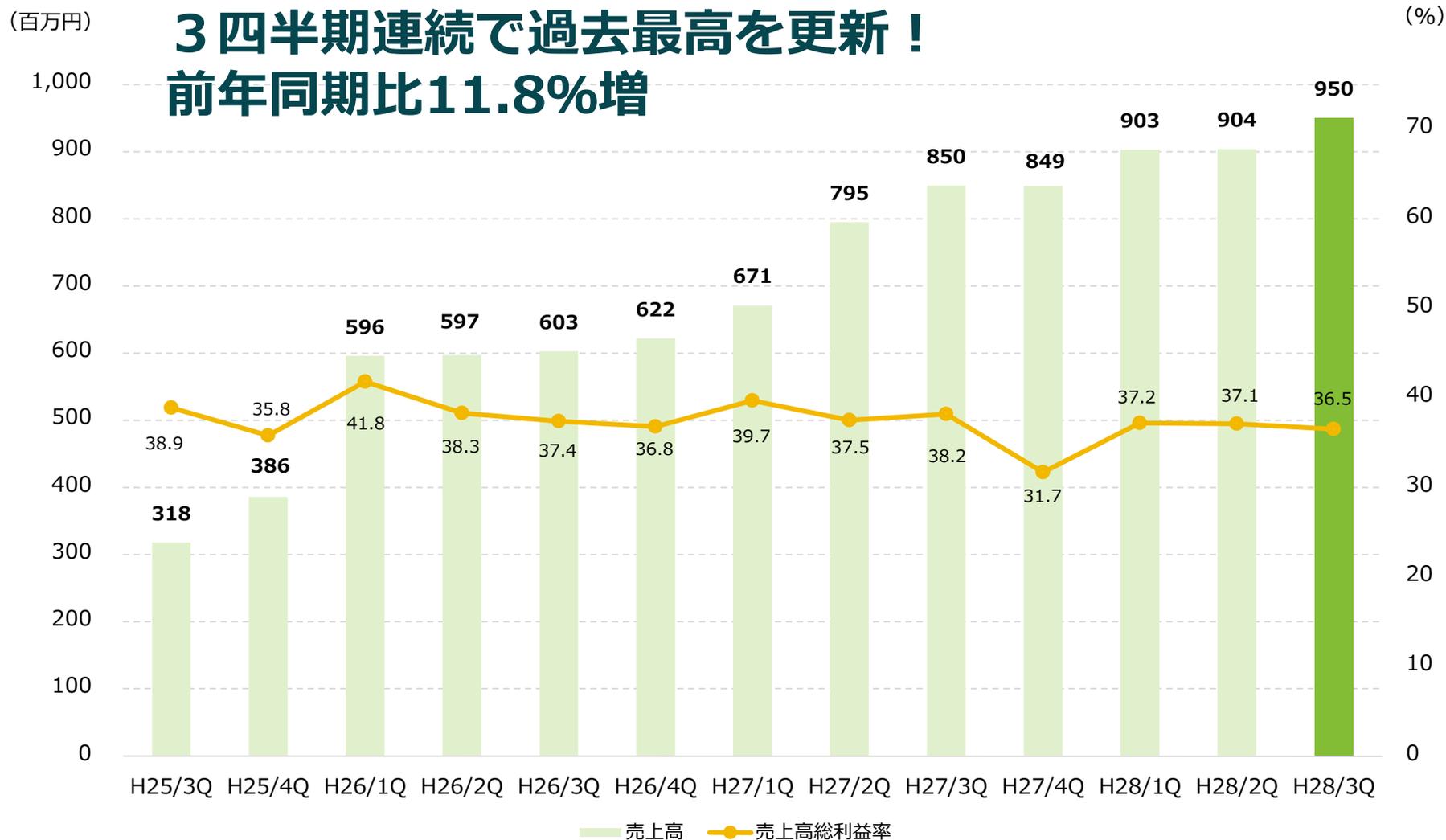
損益計算書の概要（第3四半期累計）

(単位：百万円)	平成28年12月期 第3四半期累計	平成27年12月期 第3四半期累計	前年同期比
売上高	2,758 (100.0%)	2,317 (100.0%)	+19.0%
売上総利益	1,018 (36.9%)	889 (38.4%)	+14.4%
販売費及び一般管理費	552 (20.0%)	500 (21.6%)	+10.3%
営業利益	465 (16.9%)	389 (16.8%)	+19.8%
経常利益	452 (16.4%)	385 (16.6%)	+17.4%
当期純利益	262 (9.5%)	231 (10.0%)	+13.2%

損益計算書の概要（第3四半期）

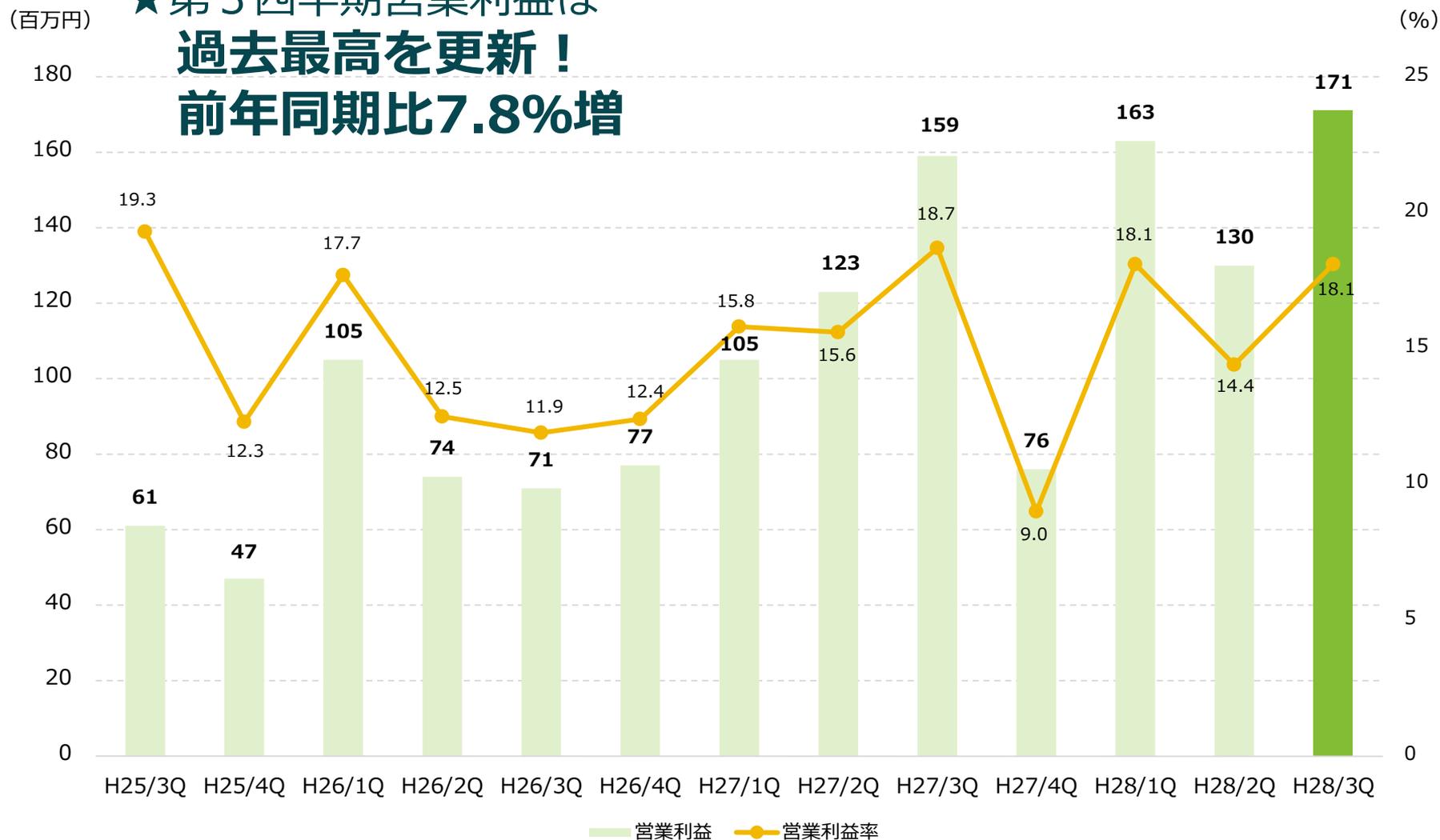
(単位：百万円)	平成28年12月期3Q (平成28年7-9月)	平成27年12月期3Q (平成27年7-9月)	前年同期比	平成28年12月期2Q (平成28年4-6月)	前四半期比
売上高	950 (100.0%)	850 (100.0%)	+11.8%	904 (100.0%)	+5.1%
売上総利益	346 (36.5%)	324 (38.2%)	+6.8%	335 (37.1%)	+3.4%
販売費及び 一般管理費	174 (18.4%)	165 (19.5%)	+5.7%	204 (22.6%)	-14.5%
営業利益	171 (18.1%)	159 (18.7%)	+7.8%	130 (14.4%)	+31.4%
経常利益	164 (17.3%)	157 (18.6%)	+4.4%	127 (14.1%)	+29.1%
四半期純利益	109 (11.5%)	96 (11.3%)	+13.3%	53 (5.9%)	+104.9%

★第3四半期売上高は
3四半期連続で過去最高を更新！
前年同期比11.8%増

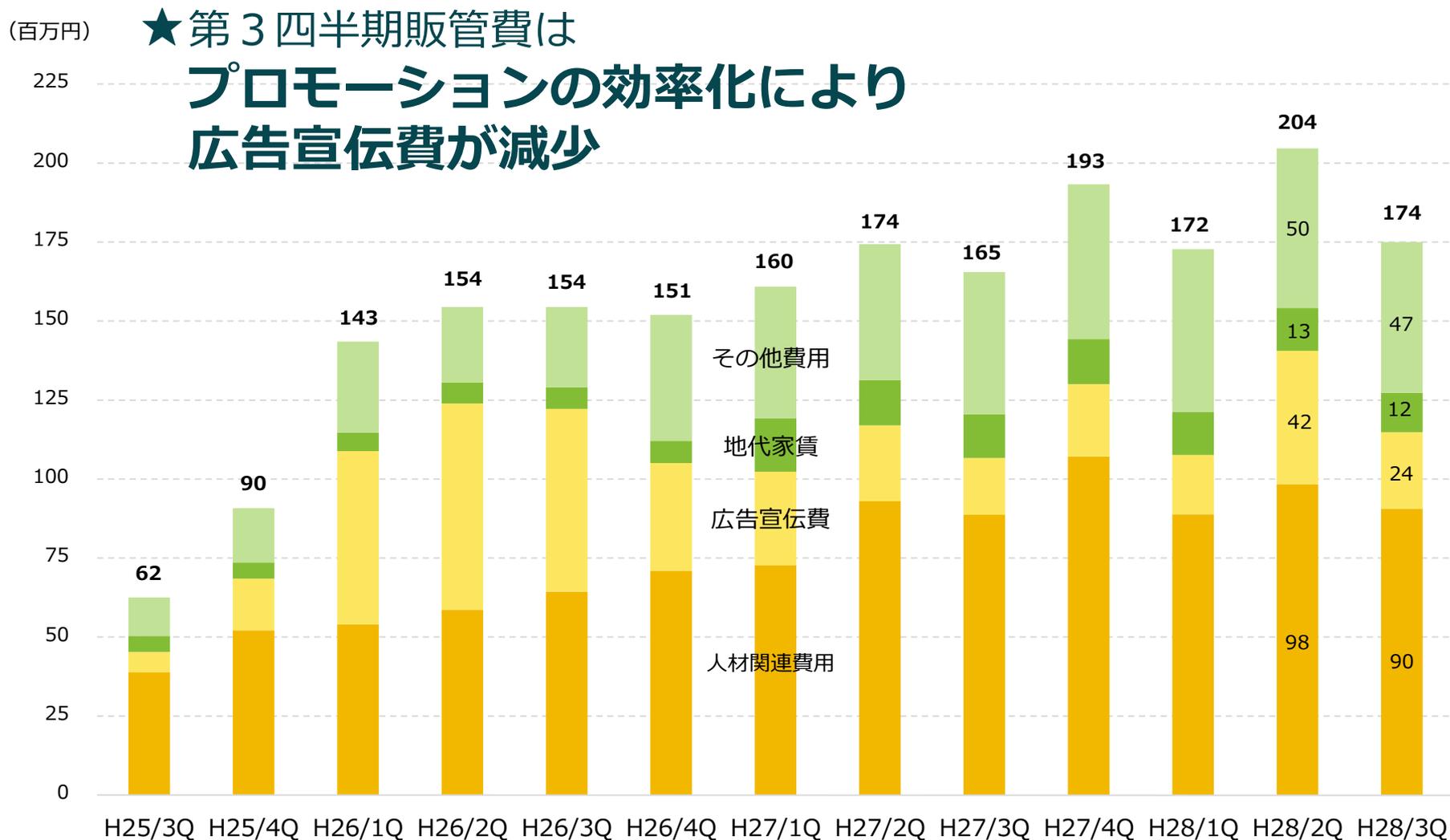


四半期営業利益推移

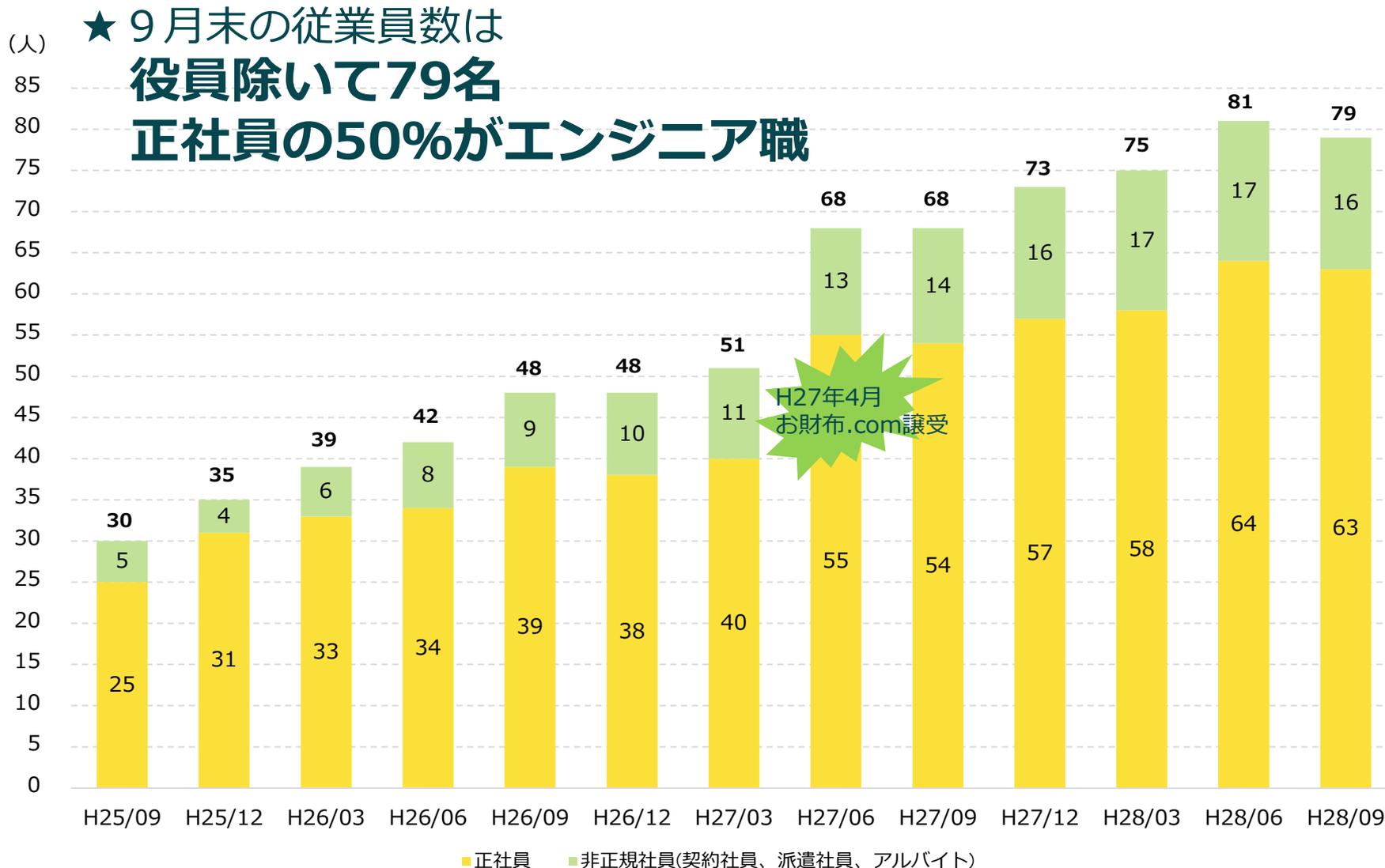
★第3四半期営業利益は
過去最高を更新！
前年同期比7.8%増



四半期販売費及び一般管理費推移



従業員数推移



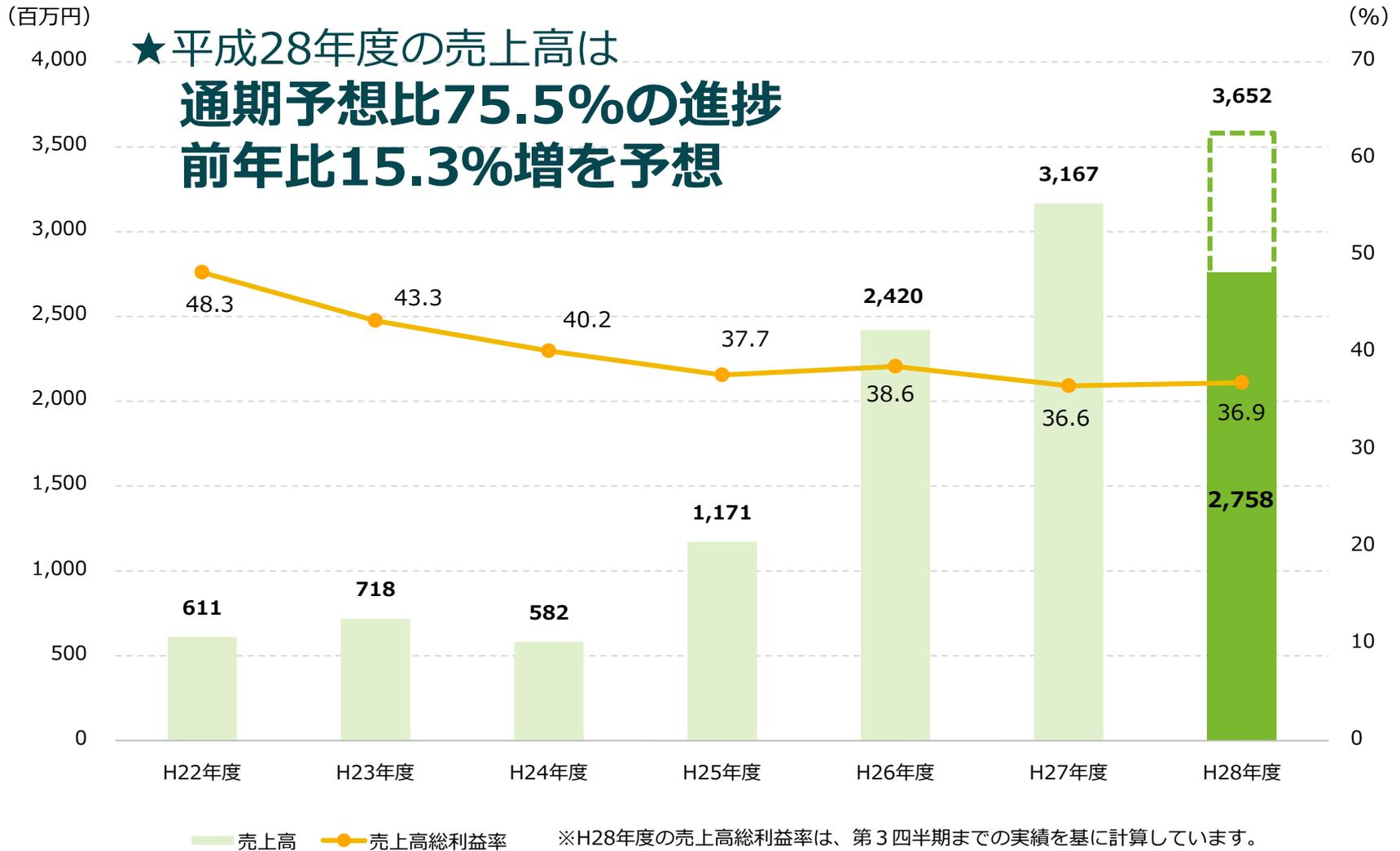
通期業績予想に対する進捗率

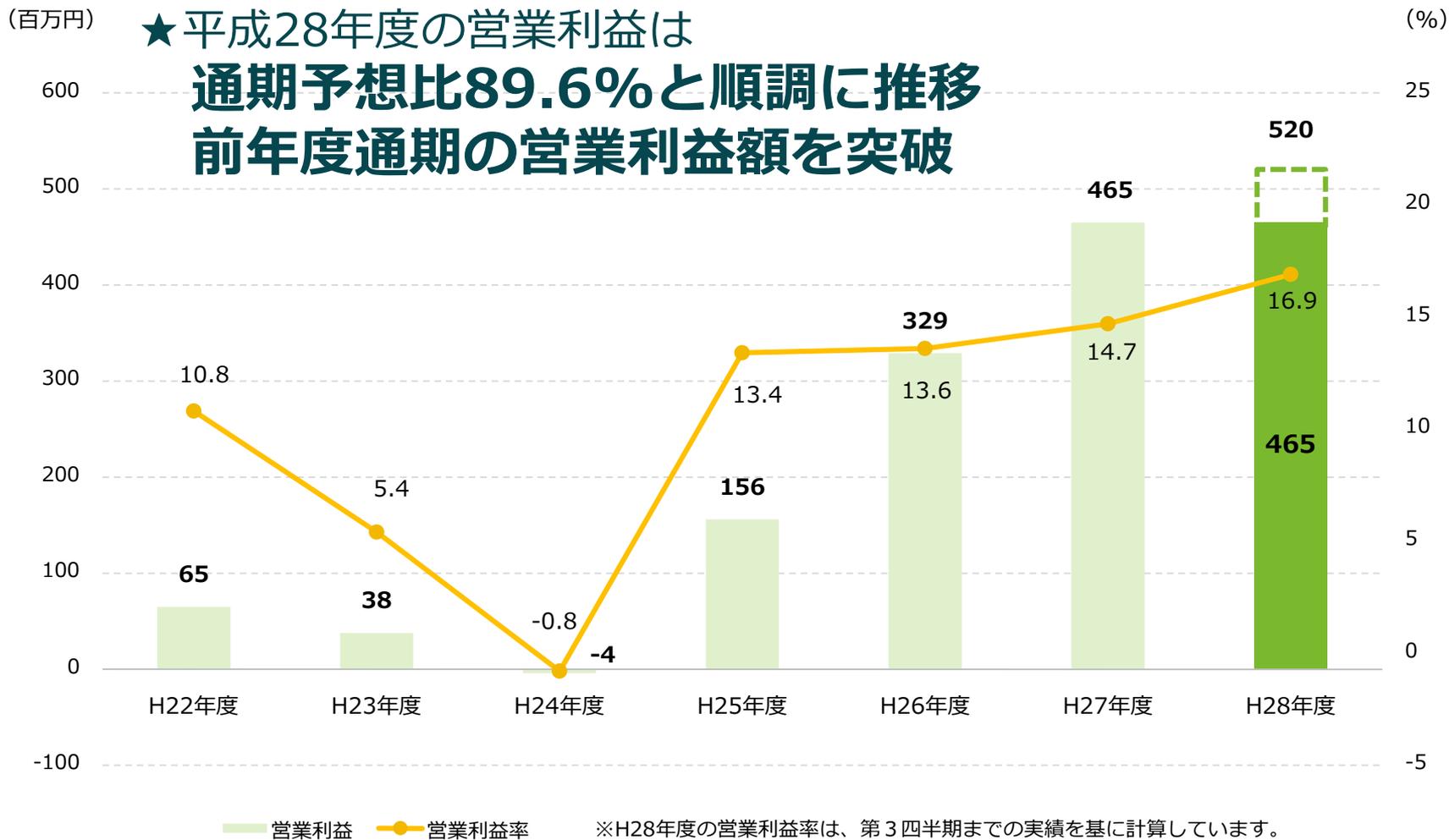
(単位：百万円)	平成28年12月期 第3四半期	通期 業績予想	進捗率
売上高	2,758	3,652	75.5%
営業利益	465	520	89.6%
経常利益	452	507	89.2%
四半期純利益	262	323	81.1%

【実績】平成27年度 ROE : 15.2%

【予想】平成28年度 ROE : 13.6%

※予想ROEは、2016年11月10日時点の新株予約権行使状況を基に計算しています。



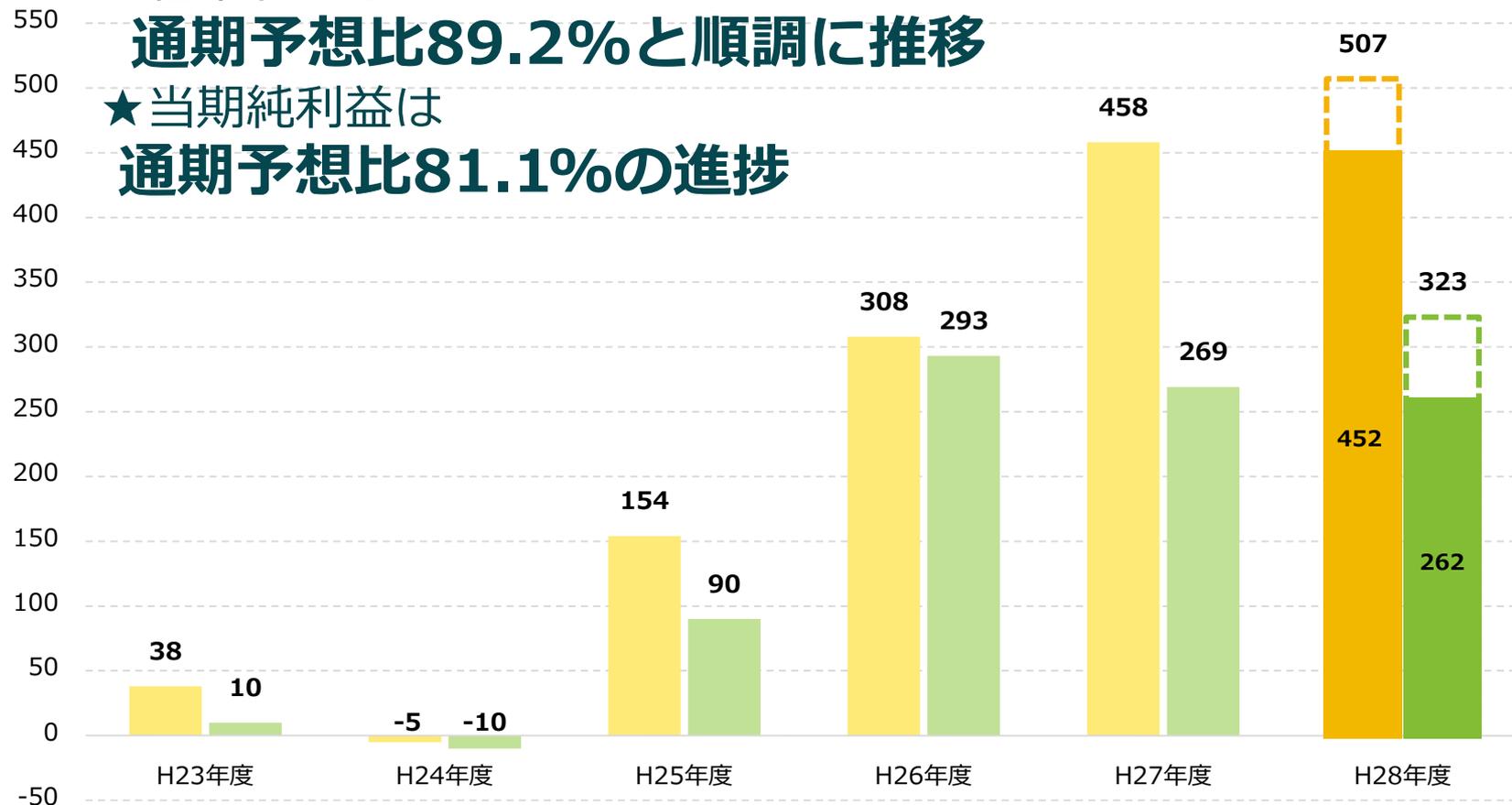


経常利益・当期純利益推移

(百万円)

★経常利益は
通期予想比89.2%と順調に推移

★当期純利益は
通期予想比81.1%の進捗



■ 経常利益 ■ 当期純利益

※H26年度の当期純利益はポイント引当金に係る繰延税金資産を計上した影響で前年同期比で大幅に増加

貸借対照表の概要

(単位：百万円)		平成28年12月期 第3四半期末	平成27年12月期 期末	前年増減額	主な要因
流動資産	2,529 (68.6%)	2,361 (71.0%)	+168	現金及び預金 +98 貯蔵品 +83	
固定資産	1,156 (31.4%)	964 (29.0%)	+191	投資その他の資産 +213	
資産合計	3,686 (100.0%)	3,326 (100.0%)	+360		
流動負債	1,078 (29.3%)	1,060 (31.9%)	+17	買掛金 +47	
固定負債	397 (10.8%)	357 (10.8%)	+39	長期借入金 +36	
負債合計	1,475 (40.0%)	1,418 (42.7%)	+56		
純資産合計	2,210 (60.0%)	1,907 (57.3%)	+303	利益剰余金 +262	
負債・純資産合計	3,686 (100.0%)	3,326 (100.0%)	+360		



2. 今後の計画（成長戦略）

スマートフォンメディア事業

- スマートフォン向け広告媒体としてスマホの成長を享受

成功報酬型ビジネスモデル

- 広告主がCPA（顧客獲得コスト）をコントロールできるモデル

インセンティブとしてのポイントサービス

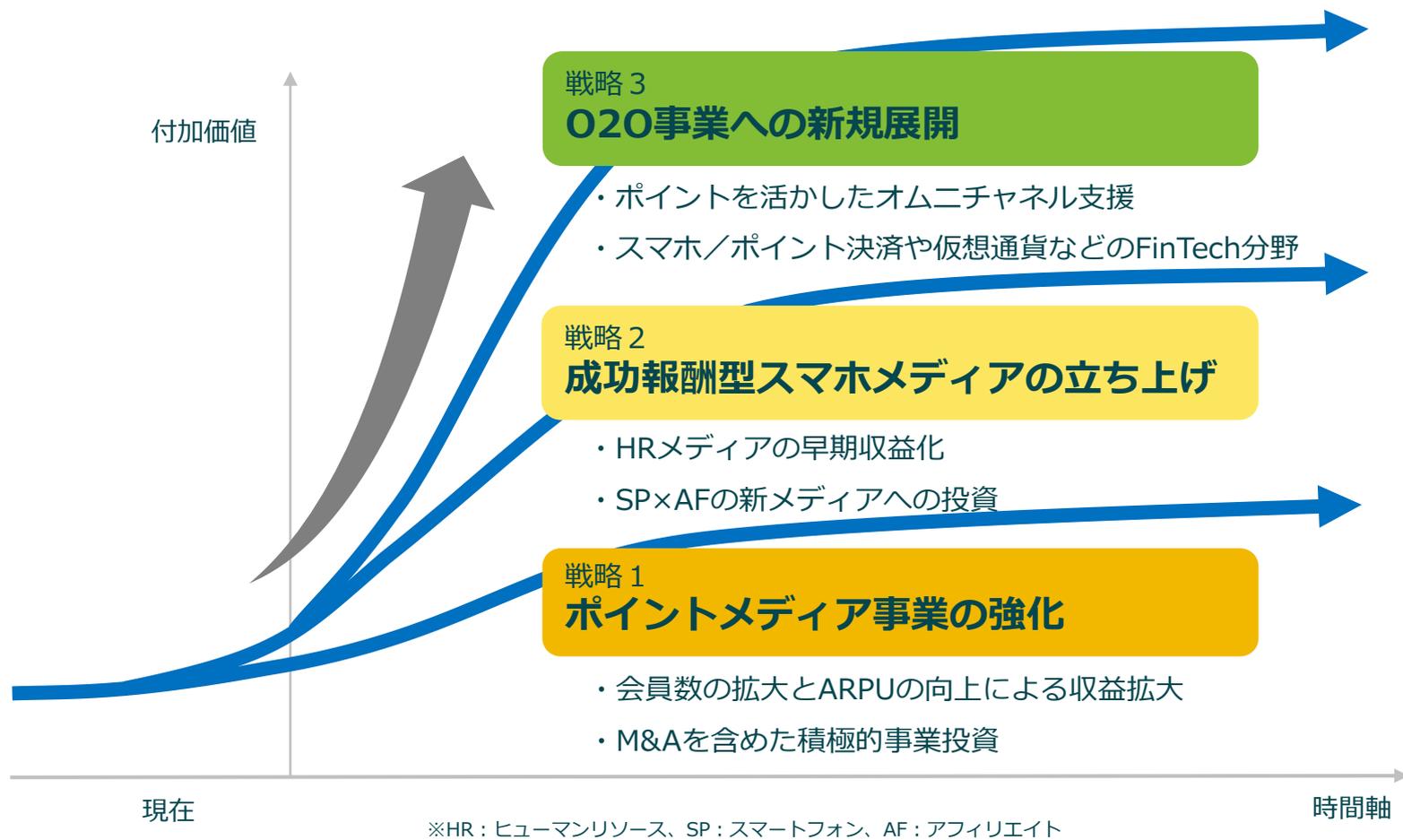
- 会員向けの持続可能（サステイナブル）な収益獲得が可能

前提／外部の市場環境



※ O2O : ネット上 (オンライン) とネット外の実地 (オフライン) が融合し相互に影響を及ぼす仕組みや状況のこと。

スマートフォンの拡大を背景に「ポイントメディア+a」を創造



成長戦略を実行するために新株予約権を発行

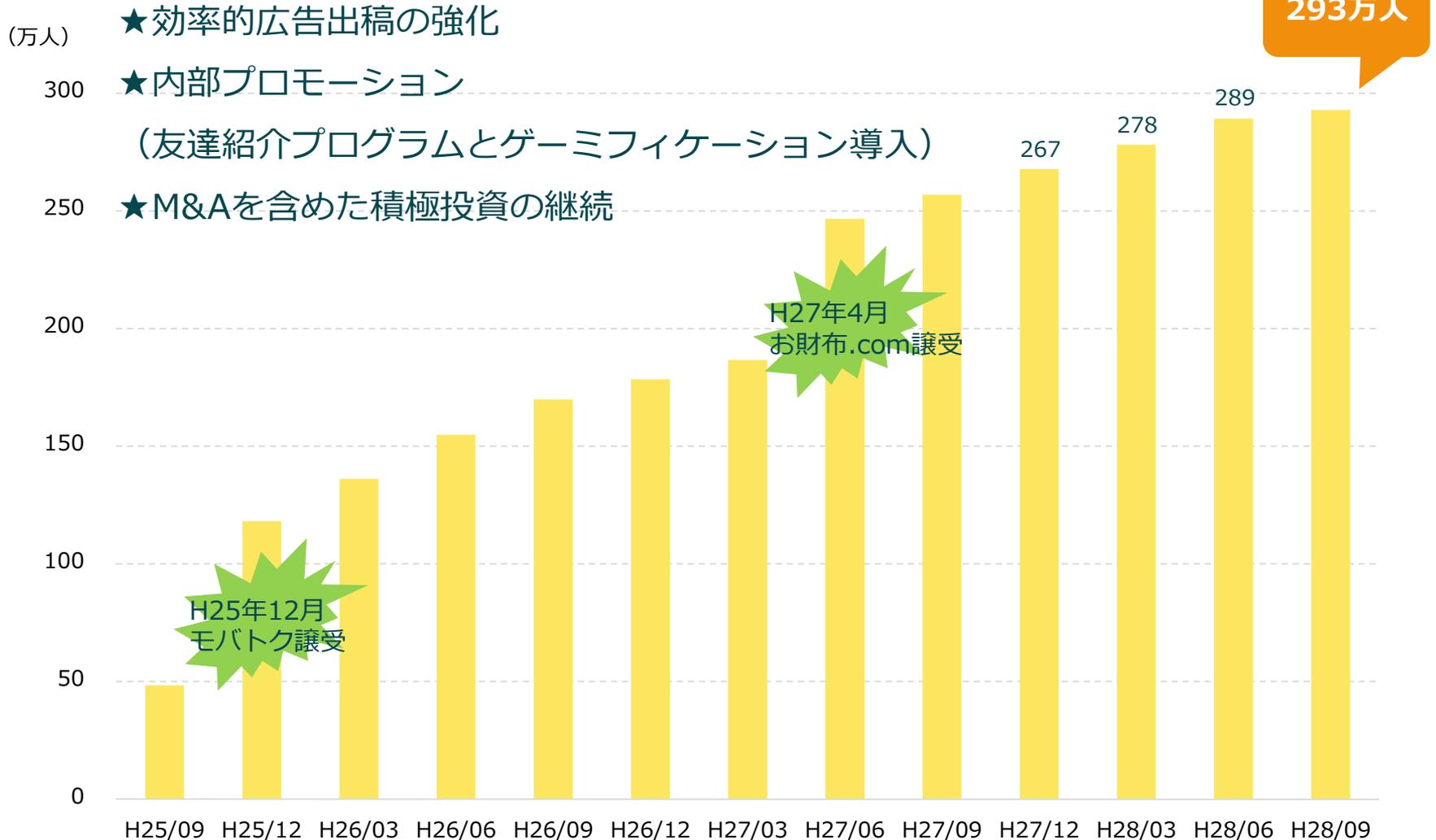
★中長期の成長戦略の実現を加速させるための資金として新株予約権を発行

資金使途	金額 (百万円)
<p>① <u>ポイントメディア事業における会員獲得のための投資資金</u></p> <p>➡ 戦略1 ポイントメディア事業の強化</p> <p>☑ 広告出稿による会員獲得、内部プロモーション費用、ポイントメディアの買収等</p>	750
<p>② <u>新たなスマートフォンメディアの開発及び立ち上げに係る投資資金</u></p> <p>➡ 戦略2 成功報酬型スマートフォンメディアの立ち上げ</p> <p>☑ モッピージョブへの投資、新たな成功報酬型メディアへの投資等</p>	850
<p>③ <u>M&A、資本業務提携投資</u></p> <p>➡ 戦略1 + 戦略3 O2O事業への新規展開</p> <p>☑ ポイントメディアの買収、O2O事業への投資、決済・ブロックチェーンへの投資等</p>	1,110
合計	2,710

※資金調達予定額（約27億円）は、平成28年10月7日発行決議時点の当初行使価額を使用し、新株予約権の払込金額の総額に新株予約権の行使に際して出資される財産の価額の合計額を合算した金額から、本新株予約権に係る発行諸費用の概算額を差し引いた金額です。

戦略1. ポイントメディア事業の会員数推移

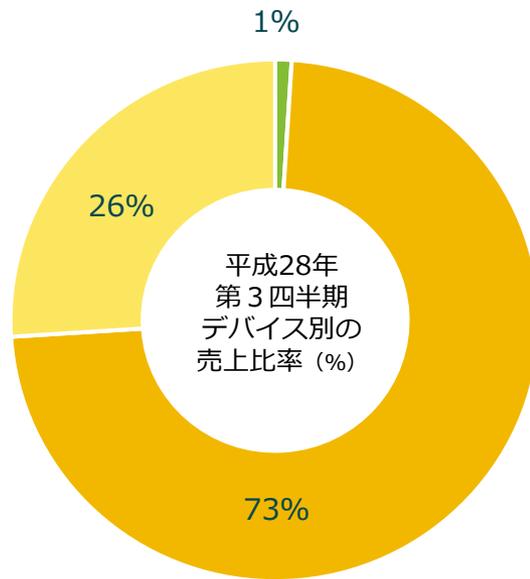
ポイントメディア会員数が293万人を突破！



戦略1. ポイントメディア事業のスマートフォン比率

- ★ スマートフォン比率は継続的に上昇し、7割を超える
- ★ 重点的に強化しているリサーチの売上比率が上昇

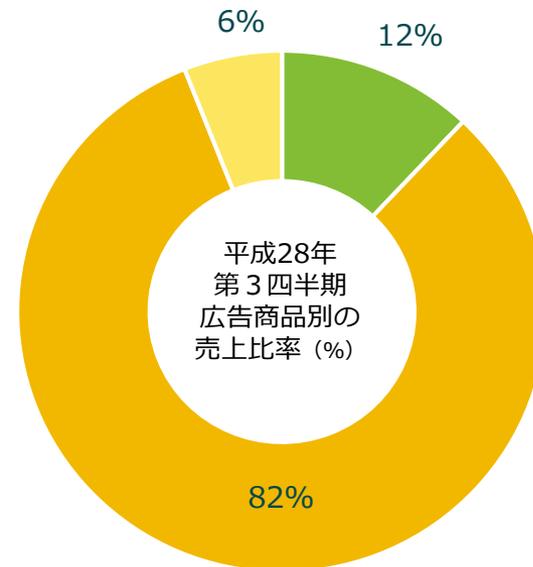
デバイス別



■ FP ■ SP ■ PC

※FP:フィーチャーフォン、SP:スマートフォン

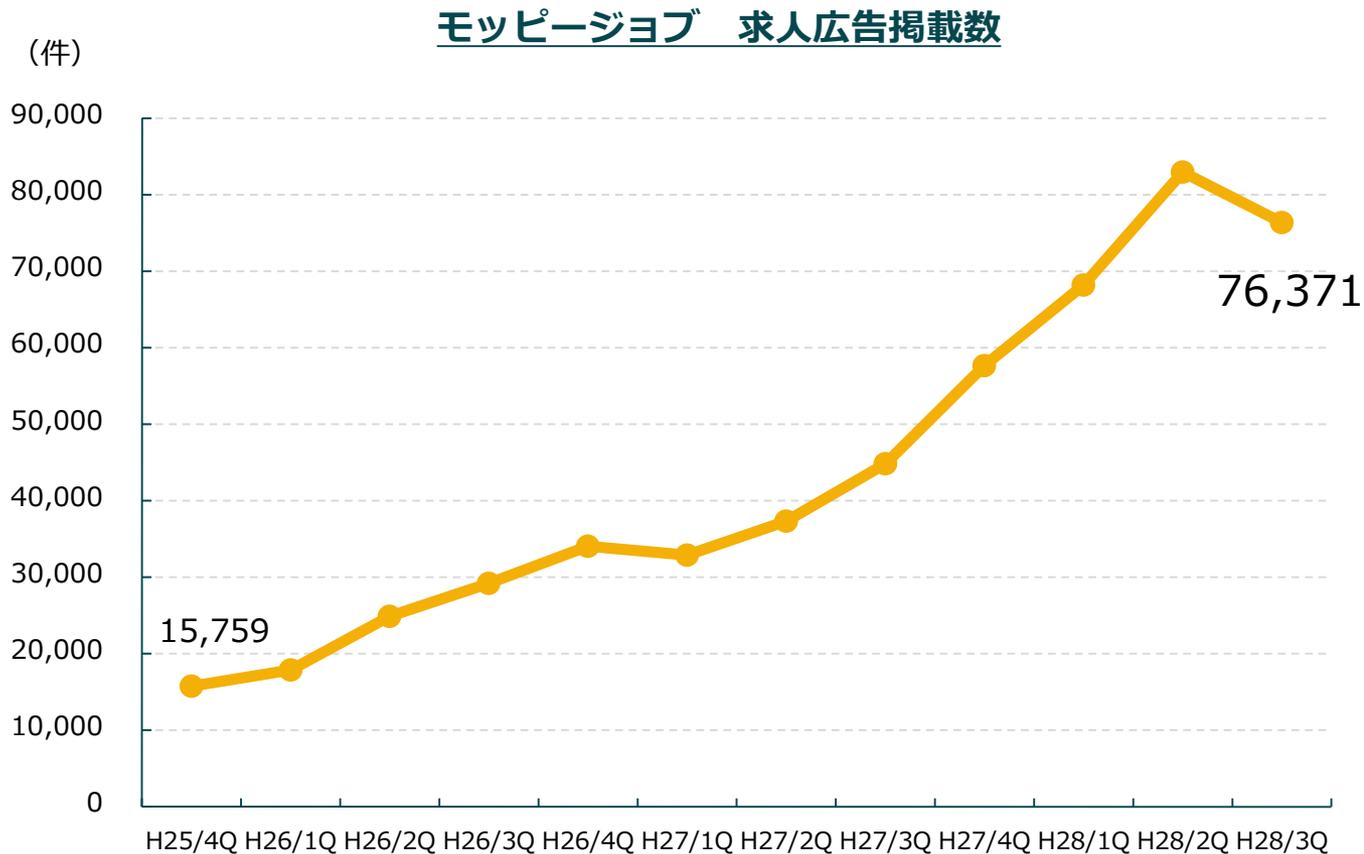
広告商品別

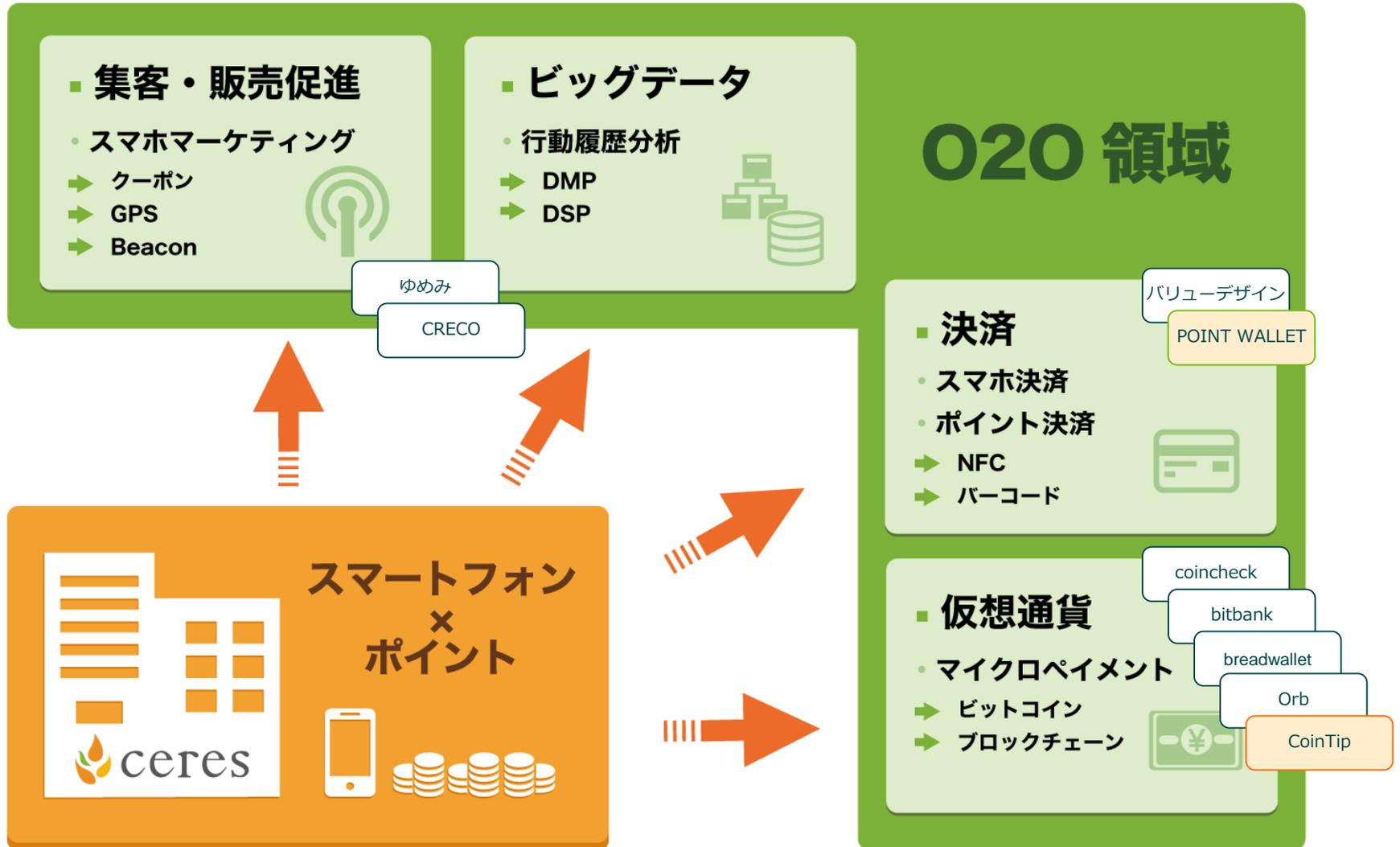


■ ディ스플레이 ■ 成功報酬型 ■ リサーチ等

戦略2. モッピージョブの求人広告掲載数

- ★求人広告掲載数は、年末目標10万件に対し、9月末時点で76,371件
- ★前四半期比では減少するも、前年同期比では70.2%増





戦略3. O2O事業「POINT WALLET VISA PREPAID」

貯めたポイントで、世界4,000万店舗のVisa加盟店で決済できる「POINT WALLET VISA PREPAID」を発行開始

ユーザーはポイントサイトで貯めたポイントでお買い物ができるだけでなく、お買い物を通じてポイントを獲得。スマートフォンと実店舗間でのユーザー送客を実現するO2O事業を開始！





3 . APPENDIX

インターネットマーケティングを通じて 豊かな世界を実現する

セレスは、社会インフラとなったインターネットを通して、様々なマーケティングサービスを提供することにより、豊かな社会生活の実現をはかります。



CERESとはギリシャ神話の「大地の女神」、「五穀豊穡の神」。
CERESはローマ名で、ギリシャ名はDemeter（デメテル）。

会社名	株式会社セレス
設立年月日	平成17年1月28日
所在地	東京都港区南青山3-11-13 新青山東急ビル4F
決算	12月
資本金	3億4,221万円（平成28年9月末現在）
代表者	代表取締役社長 都木 聡
役職員数	88名（平成28年9月末／臨時雇用者含む）
事業内容	スマートフォンメディア事業 ・ ポイントメディア事業「モッピー」「モバトク」「お財布.com」 ・ HRメディア事業「モッピージョブ」

年月	概要
平成17年 1月	株式会社セレスを東京都渋谷区神宮前に設立
平成17年 5月	「モッピー」フィーチャーフォン版サービスを開始
平成19年12月	本社を東京都港区北青山に移転
平成21年 3月	プライバシーマーク取得
平成22年11月	「モッピージョブ」サービスを開始
平成23年10月	「モッピー」スマートフォン版サービスを開始
平成25年12月	ファイブゲート株式会社より「モバトク通帳」(現：「モバトク」)事業を譲受け
平成26年10月	東京証券取引所マザーズ市場に上場
平成27年 3月	本社を東京都港区南青山に移転
平成27年 4月	株式会社オープンキューブより「お財布.com」事業を譲受け
平成28年 6月	株式会社ゆめみと資本業務提携（持分法適用関連会社化）

平成17年～
フィーチャーフォン・ポイントサービス

平成23年～
スマートフォン・ポイントサービス

成功報酬型のスマートフォンメディア事業を展開

ポイントメディア事業

ポイントサイト「モッピー」「モバトク」「お財布.com」を運営。広告の閲覧、スマホアプリのDL、提携サイトでのショッピング、アンケートなどのアクションに応じてポイントを付与する無料会員サービス。会員はポイントを現金や電子マネーに自由に交換可能。広告主から受け取る広告料の一部を原資としてポイント付与。



モッピー (SP)

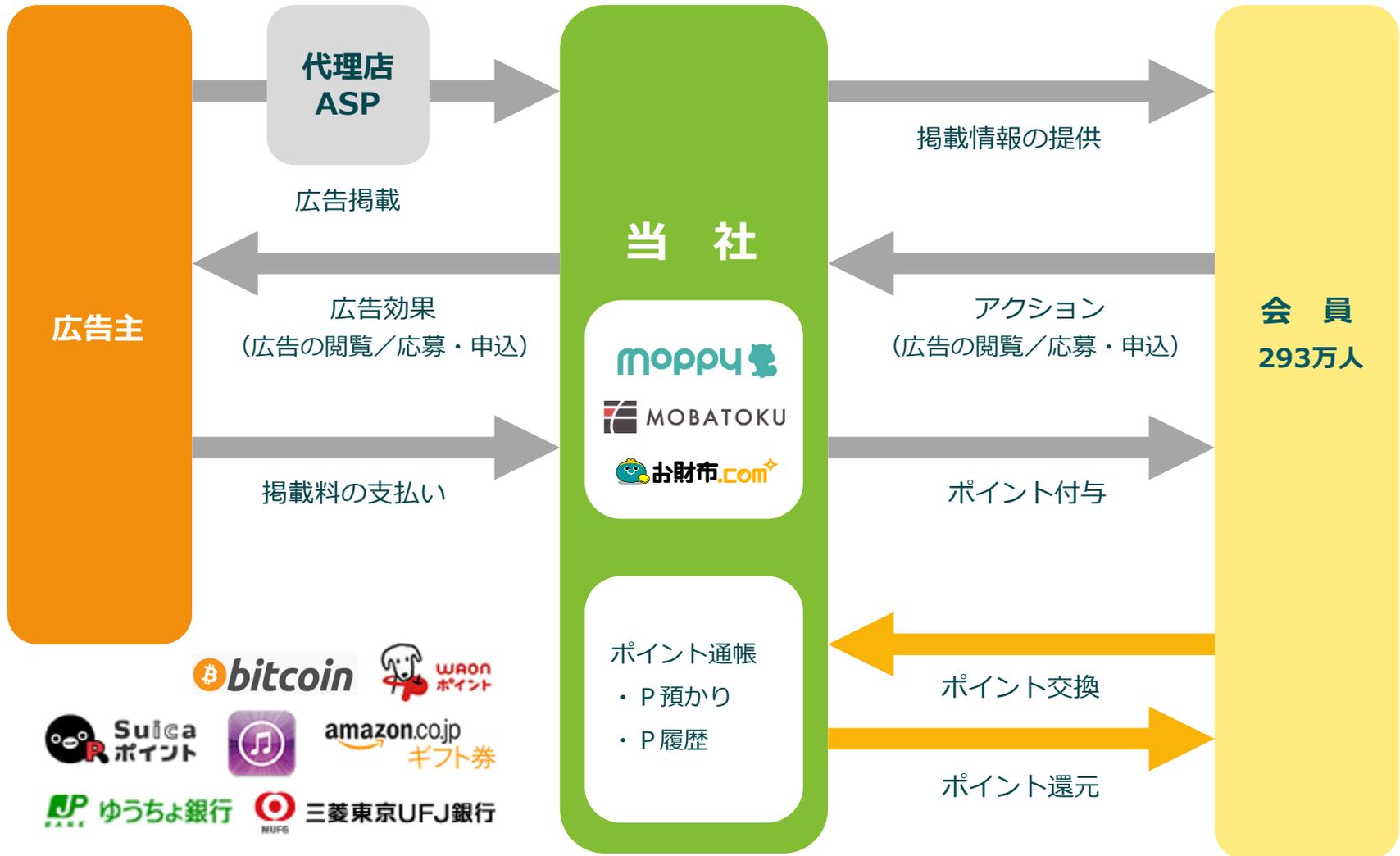
HRメディア事業

採用課金型アルバイト求人サイト「モッピージョブ」を運営。広告主が無料で求人広告を掲載可能で、求職者がモッピージョブを通じて採用された時点で広告料が発生。求職者には採用お祝いとしてポイントを付与。広告主にとって採用コストの低減が可能であり、求職者にとって多くの求人広告の選択が可能となる。

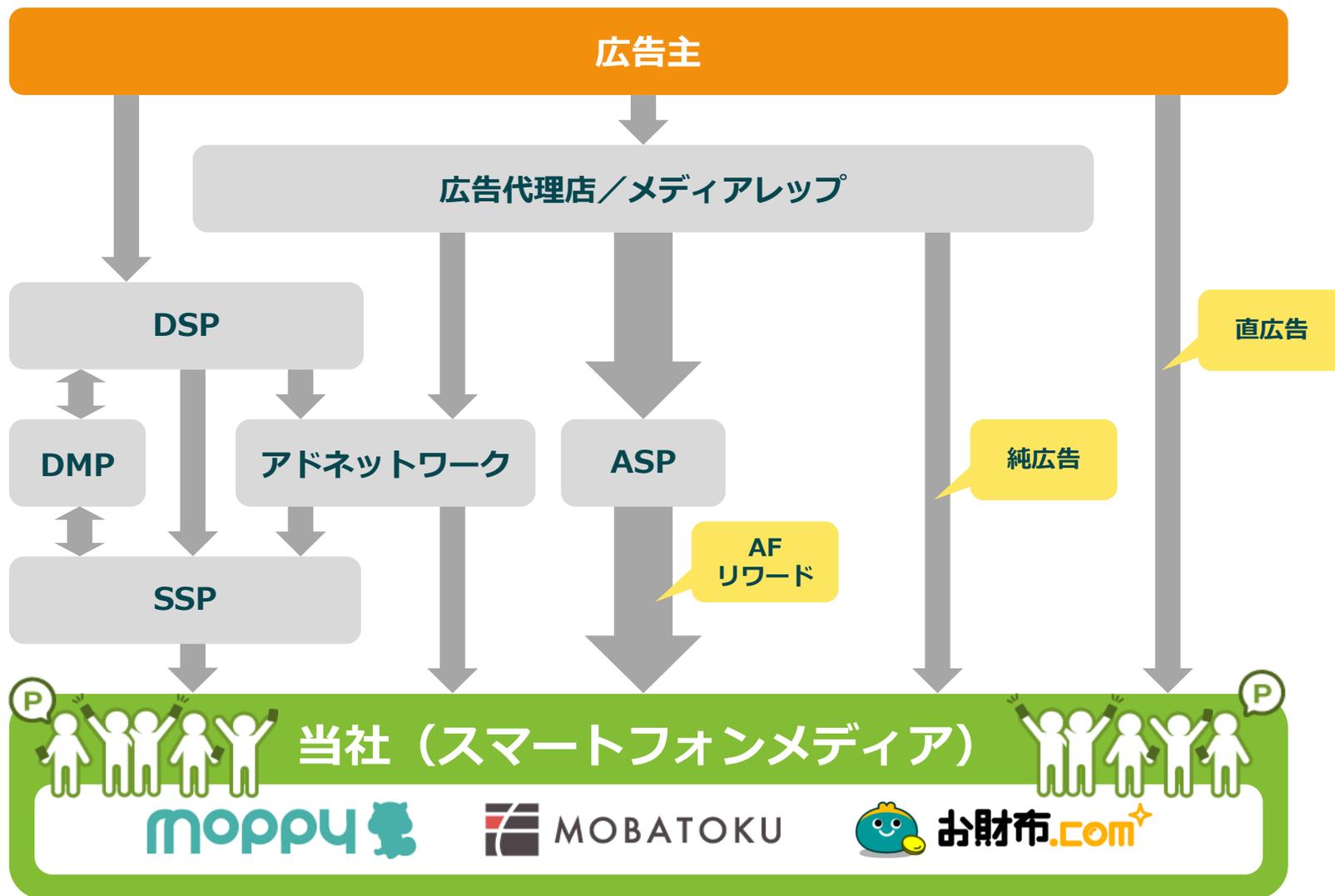


モッピージョブ (SP)

ポイントメディア事業のビジネス構造図



ビジネスの流れ（商流）



広告掲載からポイントを貯めるイメージ



アプリで貯める

- ゲーム系アプリ
- ニュース系アプリ
- ツール系アプリ

etc



スマートフォンのみ

課金で貯める

- コミック系サイト
- 動画系サイト
- 音楽系サイト
- コンテンツプロバイダー

etc



スマートフォンのみ

申込で貯める

- 高額商品の資料請求
- クレジットカード申込
- 保険代理店送客
- 中古車・引越し比較

etc



スマートフォン・PC

コマースで貯める

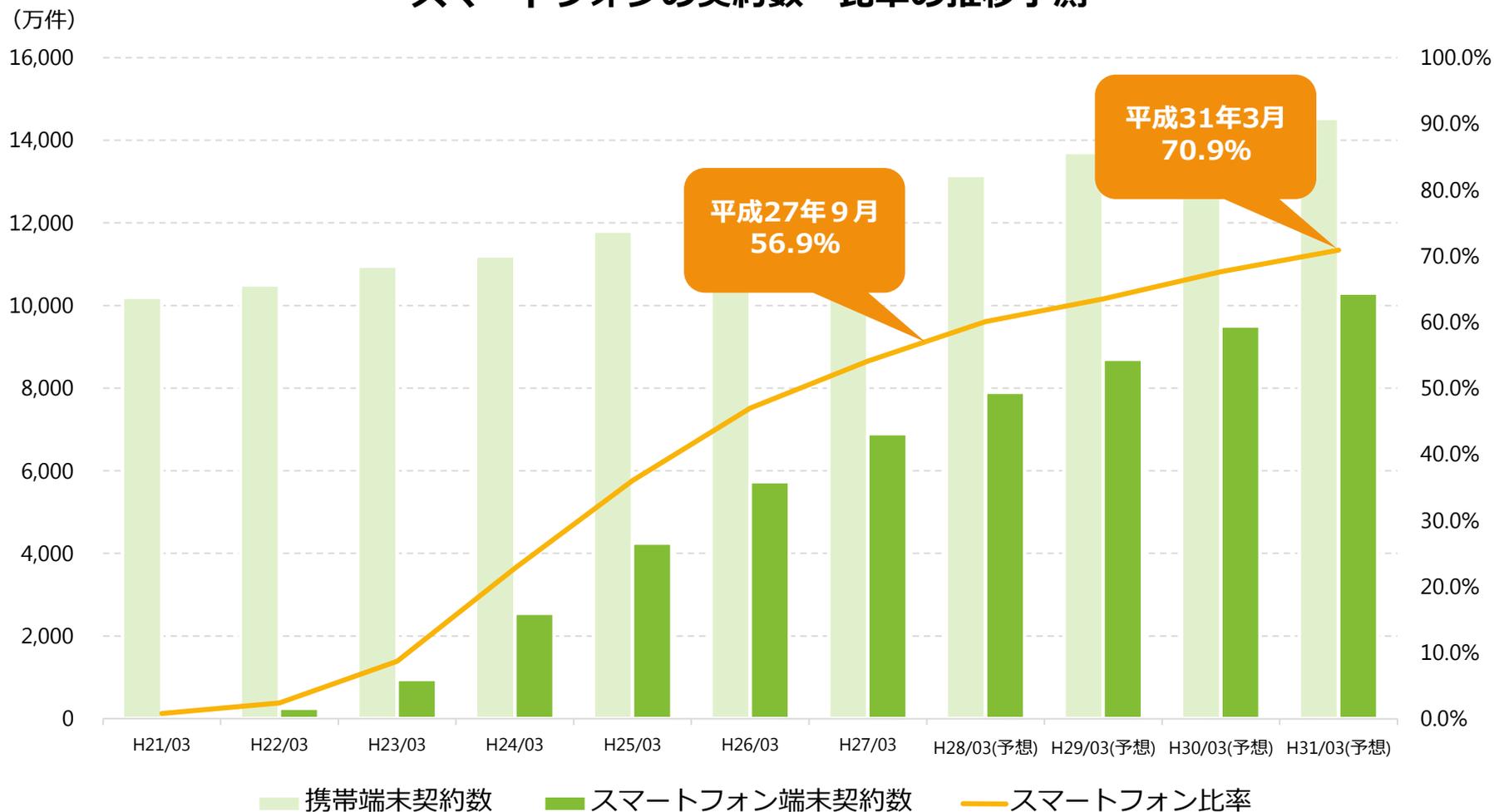
- 通販系コマースサイト
- 大手モール
- 化粧品・健康食品通販
- 無料サンプル商材

etc



スマートフォン・PC

スマートフォンの契約数・比率の推移予測

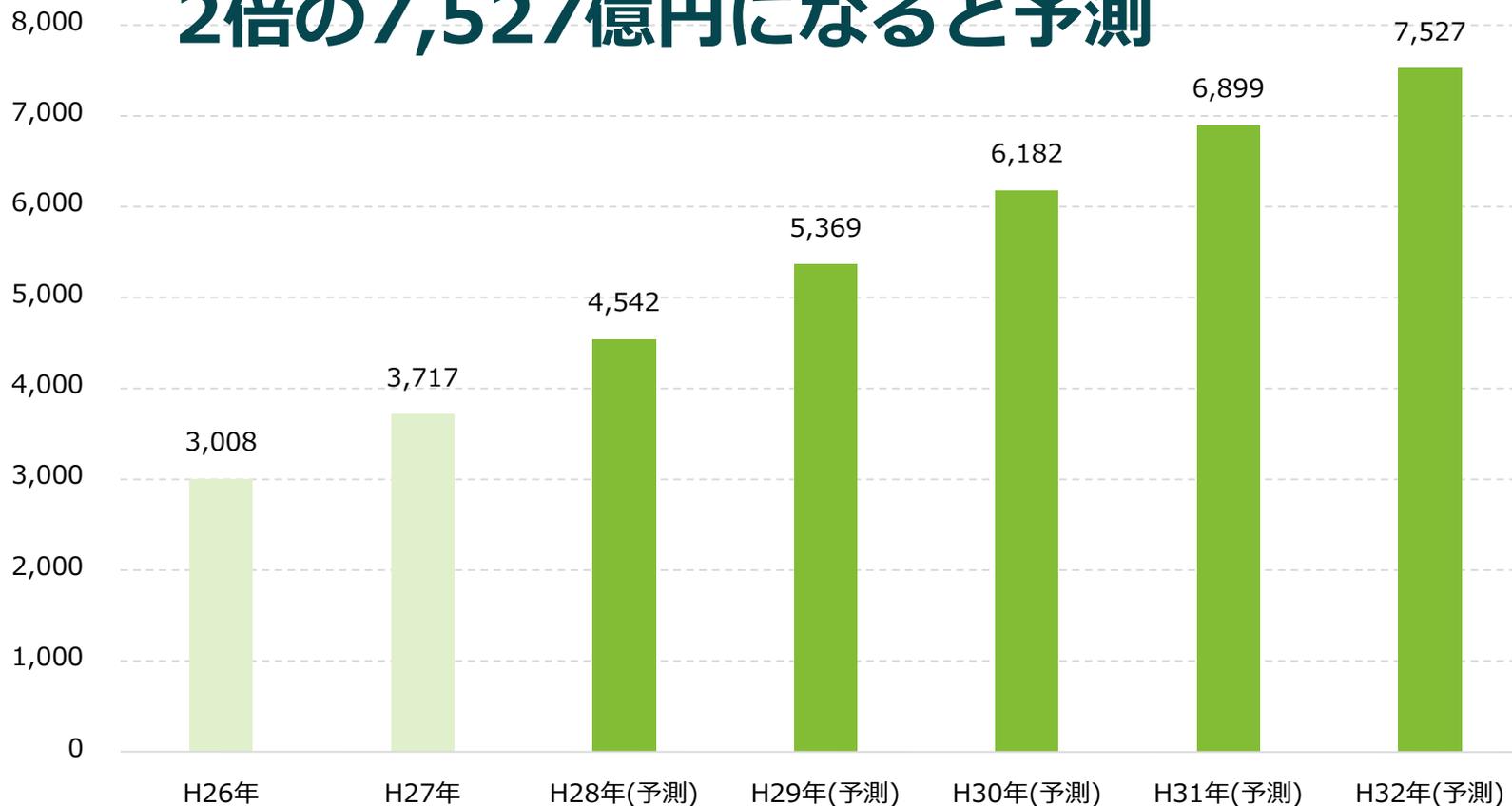


※ 株式会社MM総研 調べ



★ 5年後の市場規模が平成27年比で
2倍の7,527億円になると予測

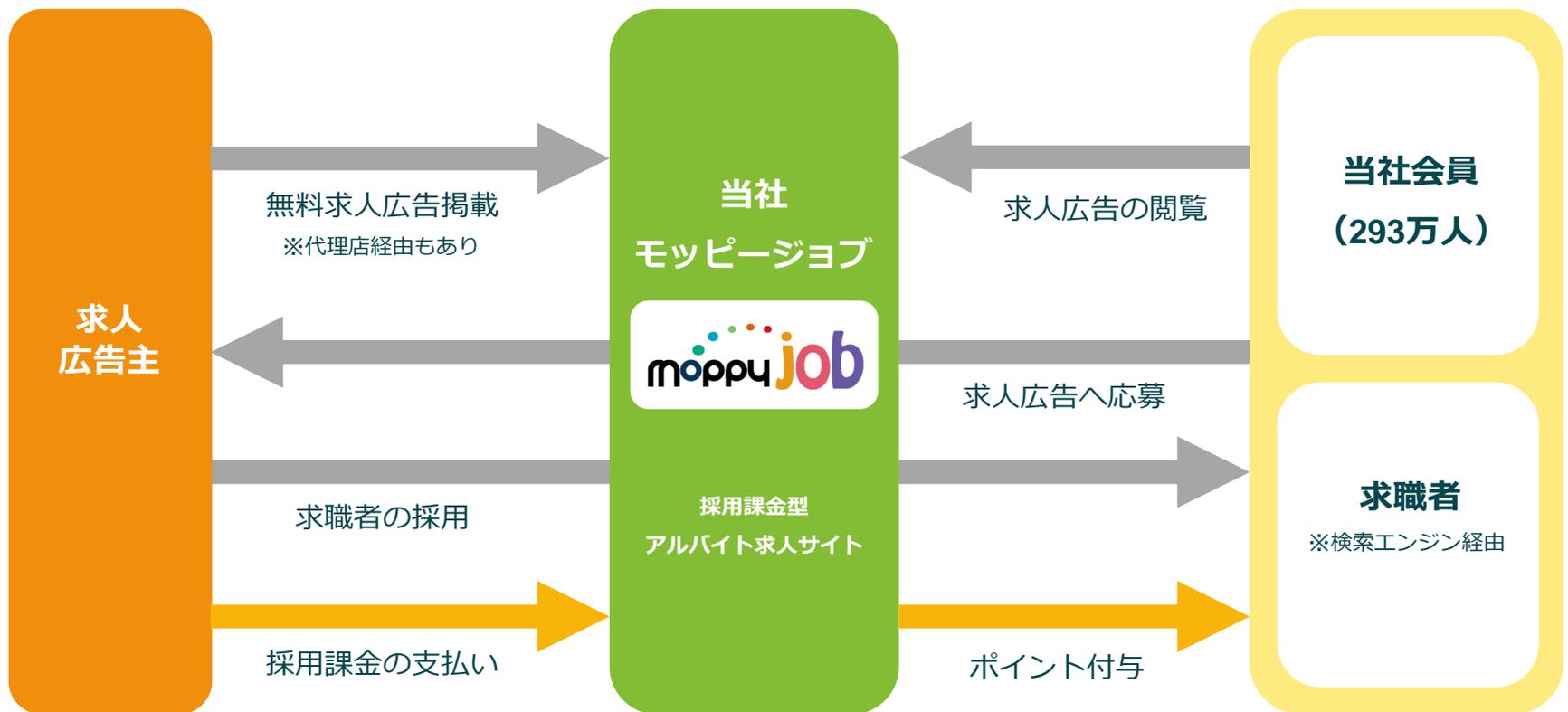
(億円)



※ 株式会社シード・プランニング/株式会社CyberZ 平成28年4月調べ

HRメディア事業のビジネス構造図

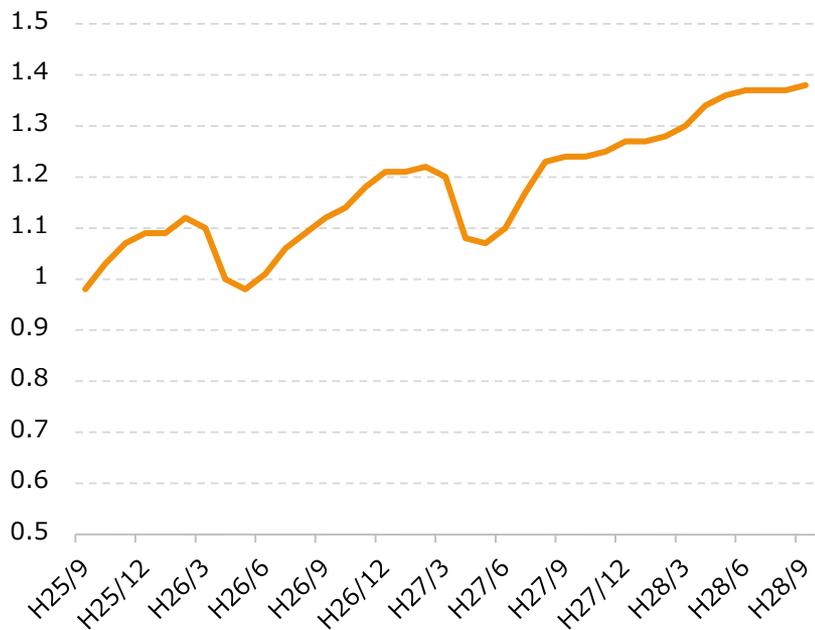
ポイントメディアの広告主を求人広告主に拡大して、成功報酬型＝採用課金型の求人サイトを平成22年に立ち上げ。293万人の会員基盤を活かすとともに、検索エンジンマーケティングを強化。



求人広告市場

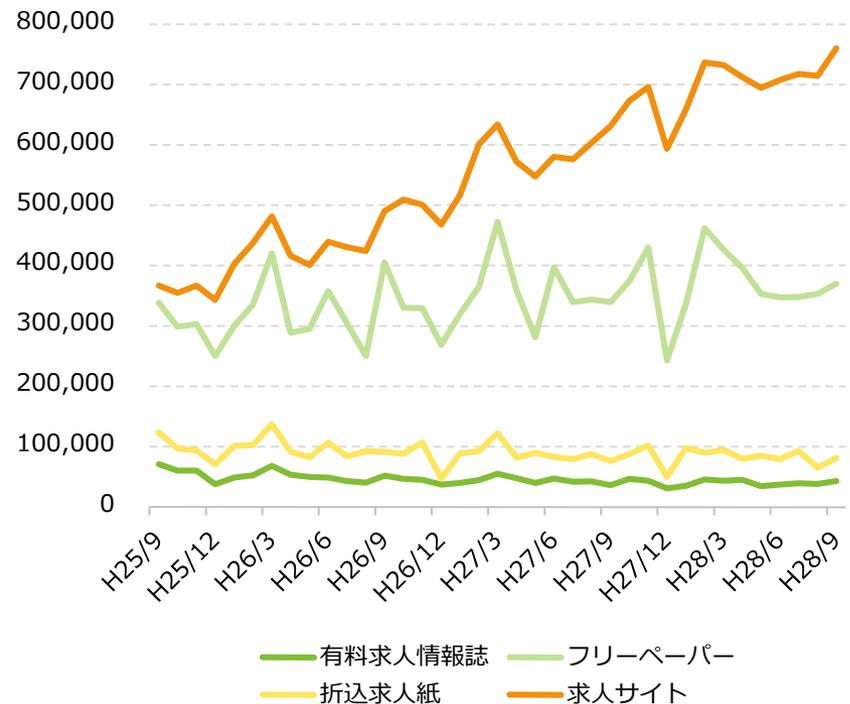
- ★ 「有効求人倍率」は平成28年9月末で1.38倍と上昇傾向が継続
- ★ 「媒体別求人広告掲載数推移」では、求人サイトと紙媒体の差は更に拡大

有効求人倍率



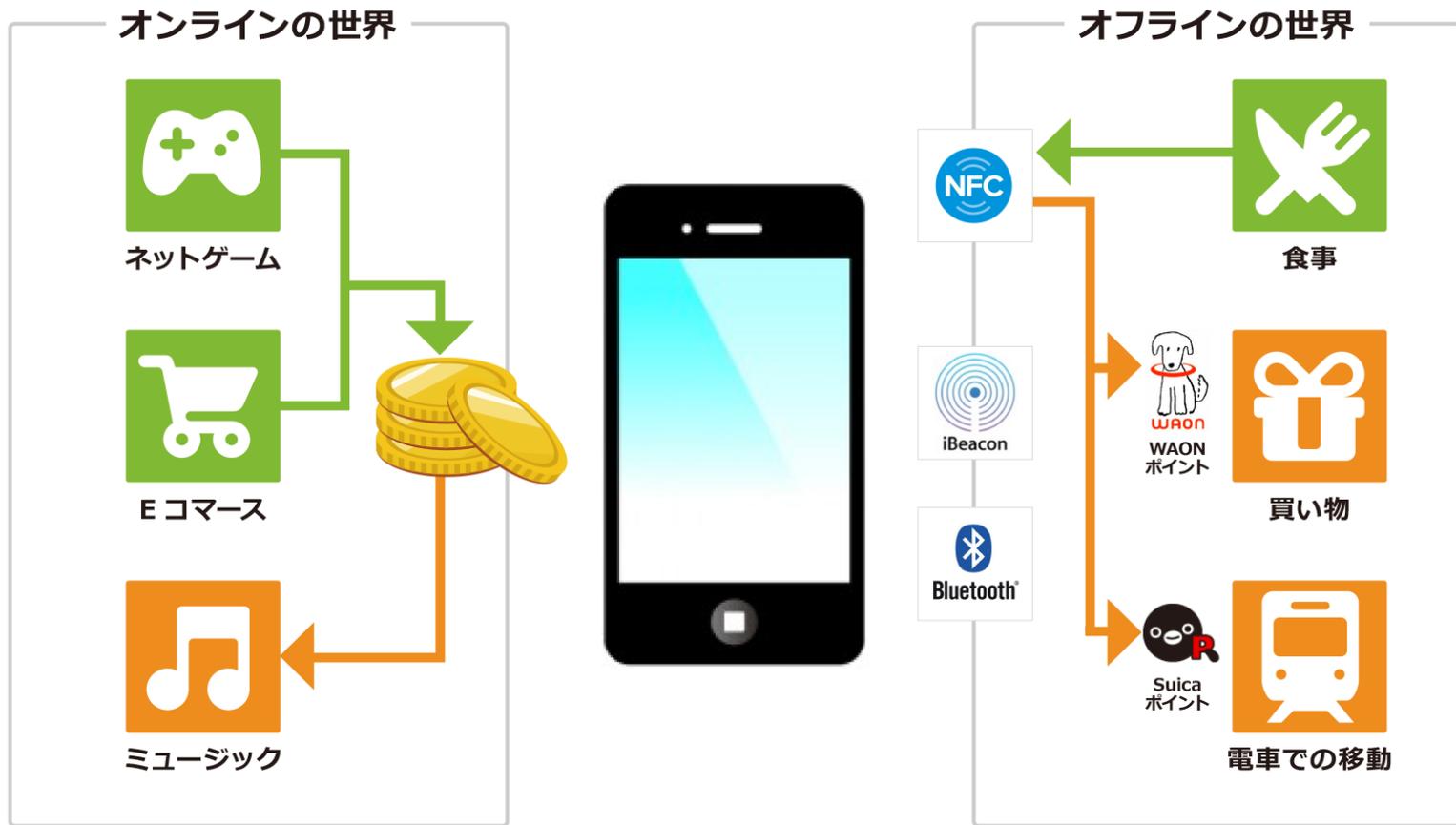
※厚生労働省の一般職業紹介状況による

媒体別求人広告掲載数推移



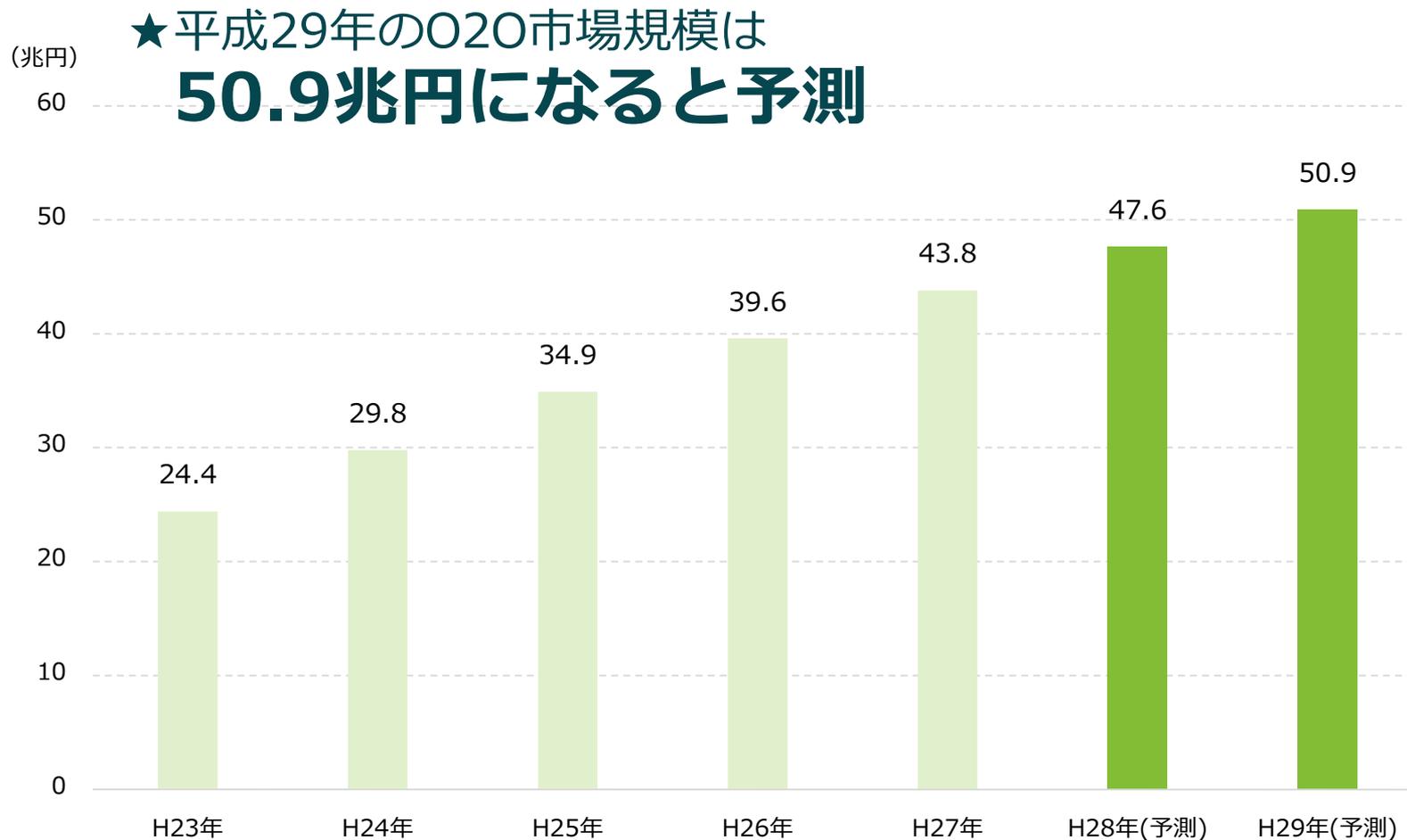
※全国求人情報協会の求人広告掲載件数等集計結果(平成28年9月分)による

スマートフォンでO2Oへ展開



- スマートフォン・インターネット上の取引でポイントを貯める
- ポイントを使ったデジタルコンテンツの購入

- スマートフォンの機能を使い電子マネーに交換して電車に乗る／店舗で買い物をする
- チェックインでポイントが貯まる



※ 株式会社野村総合研究所 調べ



将来見通しに関する注意事項

- 本発表において提供される資料ならびに情報は、いわゆる「見通し情報」(forward-looking statements)を含みます。これらは、現在における見込み、予測およびリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。
- それらリスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内および国際的な経済状況が含まれます。
- 今後、新しい情報・将来の出来事等があった場合であっても、当社は本発表に含まれる「見通し情報」の更新・修正をおこなう義務を負うものではありません。